

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	保健Ⅱ			出版社	(公社)日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト50% 小テスト30% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	—				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	小塚 友美			実務経験	○
実務内容	看護師として8年勤務、産婦人科や脳神経外科にてアロマピストとして15年勤務した経験を活かし、美容師業務に必要な医学・衛生の知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～3章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系、筋系の演習（国家試験過去問題）と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第4章～6章)	神経系、感覚器、血液の演習（国家試験過去問題）と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第7章～8章)	循環器系、呼吸器系、消化器系の演習（国家試験過去問題）と解説
4	皮膚科学（第1章）	皮膚の構造
5	皮膚科学（第2章）	皮膚付属機関の構造 1項 毛
6	皮膚科学（第2章～3章）	皮膚付属器官の構造 2項 脂腺 3項 汗腺 4項 爪 皮膚の循環器系と神経系

7	皮膚科学（第4章）	皮膚と付属器官の生理機能
8	まとめ(第1章～第4章)	テストを実施する
9	解説	振り返り・解説
10	皮膚科学（第5章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 1項 皮膚の異常と病態 2項 皮膚炎・湿疹 3項 蕁麻疹・4項 薬疹 5項 口唇の疾患
12	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾 6項 温熱・寒冷による皮膚障害 7項 角化異常による皮膚疾患 8項 色素異常による皮膚疾患 9項 管腫 10項 脂腺母斑 11項 下肢静脈瘤 12項 分泌異常による皮膚疾患
13	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 13項 化膿菌による皮膚疾患 14項 ウイルスによる皮膚疾患 15項 真菌による皮膚疾患 16項 衛生害虫による皮膚疾患 17項 感染症の皮膚予防 18項 毛と爪の疾患 19項 皮膚の腫瘍
14	総まとめ	テストを実施する
15	解説	振り返り・解説
16	皮膚科学の復習（第1章～2章）	皮膚の構造と皮膚の付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習（第2章～4章）	皮膚の付属器官の構造と循環器系と神経系の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第5章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第6章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	文化論		出版社	(公社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。		
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。		
評価基準	テスト50％　小テスト30％　授業態度20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	美容技術理論Ⅰ　美容技術理論Ⅱ		
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。		
担当教員	林　司英奈	実務経験	○
実務内容	AFTファッションカラーコーディネートを保有し、デザイナーとして25年活動の経験から、美容業界の歴史を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節　近代（明治）	明治・髪型・服装について
2	第3章ファッション文化史日本編 第6節　近代（明治）	明治・・服装について
3	第3章ファッション文化史日本編 第7.8節　近代（大正・昭和20年代）	大正・昭和の髪型・服装について
4	第3章ファッション文化史日本編 第9節　現代（1945～1950年代）	1945～1950年代の髪型・服装について
5	第3章ファッション文化史日本編 第10節　現代（1960～1970年代）	現代（1960～1970年代）の髪型・服装について
6	第3章ファッション文化史日本編 第11節　現代（1980～1990年代）	現代（1980～1990年代）の髪型・服装について

7	第3章ファッション文化史日本編 第11節 現代（1980～1990年代）	現代（1980～1990年代）の髪型・服装について
8	第3章ファッション文化史日本編 第12節 現代（2000～2010年代）	現代（2000～2010年代）の髪型・服装について
9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	運営管理			出版社	(公社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。				
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。				
評価基準	テスト50% 小テスト30% 授業態度20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	—				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	水下 翔太			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節 第3節	経営とは何か、経営者の責任、経営の目的を理解する
3	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第4節 第5節	経営戦略とは何かを理解する
4	第2章 理容業・美容業の経営について 第1節 第2節	業界の概要、理容業・美容業を取り巻く社会の変化を理解する
5	第2章 理容業・美容業の経営について 第3節	理容業・美容業における競争を理解する
6	第2章 理容業・美容業の経営について 第4節 第5節	競争の未来図、理容業・美容業の顧客を理解する
7	第1編 第3章 資金の管理 第1節 第2節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する

8	第1編 第3章 資金の管理 第3節 第4節	資産と負債、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する
9	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する
10	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金②税金の申告 青色申告と白色申告を理解する
11	第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する P 4 8～P 6 1
12	第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険①国民年金を学ぶ
13	第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員のとしての視点から 第2節	社会保険①厚生年金を学ぶ
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前期定期試験
15	振り返り	解答＆解説
16	第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員としての視点から 第3節	社会保険②健康保険を学ぶ P 6 8～P 7 1
17	第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員としての視点から 第3節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ P 7 1～P 7 3
18	第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員としての視点から 第4節	社会保険③雇用保険を学ぶ
19	第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員としての視点から 第4節	社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
20	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 健康・安全な職場環境の実現 第1節 第2節	健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康
21	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 健康・安全な職場環境の実現 第3節 第4節	理容業・美容業に特徴的な健康課題、作業環境に関する健康問題を理解する。
22	第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員としての視点から	後期授業習得度の確認
23	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	サービス・デザインの基本を学び、サービス・システム①を学ぶ
24	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	サービス・システム②、新しいサービスをデザインする。
25	第3編 顧客のために 第2章 サービス・マーケティング	理容業・美容業のマーケティング、マーケティングリサーチ、サービスの改善を理解する。
26	第3編 顧客のために 第2章 サービス・マーケティング	コミュニケーションやコスト、情報活用について理解する。
27	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客についての理解を深める。接客の実践①―③を理解する。
28	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客におけるトラブル対応を理解する。
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅱ			出版社	(公社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト50% 小テスト30% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容技術理論Ⅰ 文化論Ⅰ 文化論Ⅱ				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	船橋 光太郎			実務経験	○
実務内容	美容師として6年勤務をした実務経験に基づき、国家資格合格へ向けて美容技術理論の流れを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	≪ 8章 エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマツサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マツサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	≪ 9章 ネイル技術 ≫ 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順 ・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順 ・グルー&フィラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ ・ハンドマツサージのポイント・手順、フットマツサージのポイント・手順

5	<< 10章 メイクアップ >> 1. メイクアップ概論 2. 皮膚の生理と構造 3. フェイスプロポーション 4. 色彩について 5. パーソナルカラー	・メイクアップ概論・皮膚の生理と構造、表皮、真皮、皮下組織・フェイスプロポーション、顔の各部の名称 ・色彩について、色の三属性、色相、明度と彩度、色調・パーソナルカラー、spring, summer, Autumn, winter
6	6. 用具の種類と消毒方法 7. メイクアップ 8. ブライダルメイクアップ 9. 肌質別修正メイクアップ	・主な用具の種類、衛生について、手指の消毒、タオル類の消毒、・用具の洗い方、ブラシ類、パウダーバフ、アイシャドーチップ、 ・用具の消毒方法、消毒の手順、血液が付着していない場合、血液が付着している、あるいはその疑いのある場合 ・メイクアップ スキンケア、クレンジング、化粧水、乳液、スペシャルケア ・ベースメイクアップ 化粧下地、毛穴補正料、コントロールカラー、ファンデーション、コンシーラー、フェイスパウダー ・ブラッシュアップメイクアップ、チーク、ハイライト、シャドー ・アイブロウメイクアップ、眉の毛の流れ、眉の形の基本、代表的な眉の形 ・アイメイクアップ、アイカラー（アイシャドー）、アイライン、アイラッシュカール、マスカラ ・リップメイクアップ、代表的なリップライン ・ブライダルメイクアップ、男性のメイクアップ、スキンケア、カバーメイクアップ、眉、シャドー、リップケア ・肌質別修正メイクアップ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項
7	10. まつ毛エクステンション	・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項
8	総まとめ	テストを実施する 8章～11章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
9	<< 11章 日本髪 >> 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 5. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
10	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 10. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）
11	<< 12章 着付けの理論と技術 >> 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 9. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
12	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 14. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、 帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
13	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 19. 洋装花嫁(ウェディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
14	まとめ	まとめを実施する 11章～13章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
15	解説	テストの振り返り・解説
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマメントウェービング 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り

20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	関係法規・制度			出版社	(公社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。				
評価基準	テストおよび小テスト80% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	—				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	水下 翔太			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章 法制度の概要 第1節 第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会生活における法の役割 日本の法令体系
2	第1章 法制度の概要 第3節 第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章 衛生行政の概要 第1節 ～ 第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章 理容師法・美容師法 第1節 第2節	「美容師法」の目的 「美容師法」で用いられる用語の定義
5	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程
6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許の申請と欠格条件
7	まとめ	まとめを実施する

8	解説	振り返り・解説
9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	衛生に関連する法律、業の振興に関連する法律
20	第4章 関連法規	雇用に関連する法律、消費者保護に関連する法律
21	まとめ	まとめを実施する
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（1）	国家試験過去問演習等
29	総復習（2）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	衛生管理			出版社	(公社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。				
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけではなく業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト50% 小テスト30% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	—				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	西澤 務			実務経験	○
実務内容	美容師として37年の経験に基づき、「公衆衛生」・「環境衛生」を業務に関連付けて説明ができるよう、授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	公衆衛生	公衆衛生のまとめと問題演習
2	環境衛生	環境衛生のまとめと問題演習
3	感染症	感染症のまとめと問題演習
4	総まとめ	総まとめを行う
5	第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論	消毒とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
6	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論①	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意

7	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論②	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
8	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論③	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
9	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(1)	消毒薬の概要、消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
10	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の消毒の実際
11	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領①	第1 目的～第4 衛生的取扱い等
12	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領②	第 5 消毒～第6自主的管理体制
13	まとめ	衛生管理技術、衛生管理の実際 まとめを実施する
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	香粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	香粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	香粧品化学		出版社	(公社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容技術理論」、及び「美容実習」と関連させながら、実的な知識の習得する。		
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。		
評価基準	テスト50% 小テスト30% 授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	衛生管理、美容保健、美容技術理論		
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。		
担当教員	鶴嶋 信一郎	実務経験	○
実務内容	10年間のサロンワークと国内外でのヘアメイクを経験し、現在は化粧品メーカーで商品開発に従事している経験をもとに、香粧品科学や美容機器等の適切な取り扱いができるよう教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 第1章：香粧品総論 第2章：香粧品を使用する際に気を付けること	香粧品の社会的意義を踏まえ、その有効性と安全性を確保するための国による規制やメーカーの対応などから使用する際の注意その他
2	第3章：香粧品の成り立ち 「水と親水性溶媒」	溶質と溶媒、有機・無機化合物、アルコールの種類と特徴のまとめ
3	第3章：香粧品の成り立ち 「油性原料」「界面活性剤」	油性原料（油脂、ロウ類、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール、シリコン油など） 界面活性剤の種類と性質
4	第3章：香粧品の成り立ち 「高分子化合物」「色材」	高分子化合物（天然・半合成・合成） 色材（無機顔料・タール色素など）
5	まとめ総合および中間試験	1～4回までの総復習および中間試験
6	第3章：香粧品の成り立ち「天然色素」「香料」「配合原料」	天然色素、香料、配合原料（防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤・収れん剤など）合成樹脂など

7	第2編 第1章：スキンケア製品①	クレンジング用化粧品・コンディショニング用化粧品（クリーム・乳液を含む）とエモリエント剤の復習
8	第2編 第1章：スキンケア製品②	トリートメント用化粧品・サンケア製品・美白用化粧品・ニキビ用化粧品・打粉類・パック剤
9	第2編 第2章：メイクアップ製品	ベースメイクアップ製品、アイメイクアップ製品、まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品
10	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品①	ヘアクレンジング用化粧品、ヘアコンディショニング用化粧品、ヘアスタイリング料・総復習
11	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品②	パーマ剤（パーマの原理、分類など）
12	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品③	ヘアカラー製品・スカルプケア製品
13	まとめ総合および期末試験	6回から12回までの総復習および期末試験
14	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
15	前期総まとめ	前期総まとめ
16	前期内容確認	前期で学習した内容を総復習しながら、不十分な範囲などを補足する
17	化学範囲補充	教科書化学範囲（関連事項）について補足授業
18	化粧品化学総合①	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
19	化粧品化学総合②	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
20	化粧品化学総合③	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
21	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
22	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
23	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
24	まとめ総合および期末試験	期末試験（全範囲）
25	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する。				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容技術理論Ⅰ 美容実習Ⅱ - C 美容実習Ⅱ - E				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	荒井 悦子 他			実務経験	○
実務内容	美容室勤務13年の実務経験を活かし、国家試験資格合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）、計測27分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）復習、計測27分～25分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール導入（手順、スライス、ピニング）、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール導入
5	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール復習、強化
6	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール復習、強化、7段目クロッキノールカール導入
7	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール、7段目クロッキノールカール復習、強化、7段構成全体のバランス

8	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティングまとめを実施する 1段目～3段目、くり抜き、4段目右リフトカール、5段目左リフトカール計測26分 6段目メイボール、7段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	7段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測4段目～7段目カール12分 7段構成 計測35～30分、美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する（全頭35分） 7段構成 計測35～30分 美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
13	オールウエーブセッティング	7段構成25分 美容師国家試験衛生
14	オールウエーブセッティング 総まとめ	7段構成25分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報2

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する。				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容技術理論Ⅰ 美容実習Ⅱ - A 美容実習Ⅱ - C 美容実習Ⅱ - D 美容実習Ⅱ - E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、 以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	柴田 愛美 他			実務経験	○
実務内容	美容室勤務6年の実務経験を活かし、国家試験資格合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き22分～20分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き22分～20分
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分

7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全島計測20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り
各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい カット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する。				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% オールウェーブ：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容技術理論Ⅰ 美容実習Ⅱ-A 美容実習Ⅱ-B 美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	荒井 悦子 他			実務経験	○
実務内容	美容室勤務14年の実務経験を活かし、国家試験合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生

8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
各回の展開【オールウェーブセッティング】		
回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
6	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング 総まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カットニング教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カットニングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する。 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する。				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。				
評価基準	国家試験カット：総まとめ20％ まとめ15％ 提出物10％ 授業態度5％ シャンプー：総まとめ20％ まとめ15％ 提出物10％ 授業態度5％				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容技術理論Ⅰ 美容実習Ⅱ - B 美容実習Ⅱ - E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「シャンプーング」の2領域に大別されるため、 以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	長岡 みどり 他			実務経験	○
実務内容	美容師として11年勤務し、ガールズコレクションなどのヘアメイク業務も担当した経験を活かし、実践的なシャンプーイング・カット・カラー技術を伝授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生

7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
各回の展開【シャンプーイング】		
回数	単元	内容
1	シャンプーイング	シャンプー台の利用の仕方、シャンプー知識、ブラッシング、シャワーヘッドの使用方法 シャンプーのプロセスの理解
2	シャンプーイング	プレシャンプー シャンプー手順 1シャンプー
3	シャンプーイング	シャンプー手順 1シャンプー
4	シャンプーイング	シャンプー手順 1シャンプー トリートメント
5	シャンプーイング	シャンプー手順 2シャンプー トリートメント
6		6回目以降 各校フリー内容を入力する
7	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
8	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報2

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する。				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容技術理論Ⅰ 美容実習Ⅱ - A 美容実習Ⅱ - B 美容実習Ⅱ - C 美容実習Ⅱ - D				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	柴田 愛美 他			実務経験	○
実務内容	美容室勤務7年の実務経験を活かし、国家試験合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する

8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	・ 衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め・腰ベルト ・ 腰ひも（モスリン4点）・和装スリッパ（下着） ・ クリップ（2本セット）・足袋			出版社	桜花出版 KW

科目の基礎情報2

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。 【美容科ブライダルコース】 ：上記知識だけでなく花嫁着付の知識も修得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることができる。 技術の習得目安として、『きもの着付3級（6月強制受験 免許強制）』『きもの着付2級（12月強制受験 免許任意）』を取得することができる。 【美容科ブライダルコース】 ：上記免許に追加して、『花嫁着付3級（12月強制受験 免許強制）』を取得することができる。				
評価基準	検定試験40％ テスト30％ 授業態度30％				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付資格・花嫁着付資格				
関連科目	—				
備考	・ 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・ この科目は下記2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	佐渡 裕利伊 他			実務経験	○
実務内容	着付け師として5年間勤務し、現在は成人式や袴会場での着付けも担当。ホテルやウェディング会場にて介添えとして16000件以上を担当し、着付けの基礎知識や花嫁着付けの知識を伝授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開（ヘアスタイリストコース・ヘアメイク&アイラッシュコース・ネイル&アイラッシュコース・ヘアカラーリストコース）

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について 教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3		小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する
4		小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5		半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する

6	小紋の着せ方	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7		小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8		小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付3級検定（小紋の着付と蝶結び（20分））を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学	着物の名称と用語（プリント12）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	小紋と名古屋帯	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14		お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（お太鼓結び）と総まとめを行う
16	振袖の着せ方	授業の流れ、到達目標について説明する、考查票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17		袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18		袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19		振袖の着付を仕上げる（検定対策）
20		振袖の着付を仕上げる（検定対策）
21		振袖の着付を仕上げる（検定対策）
22		振袖の着付を仕上げる（検定対策）
23		振袖の着付を仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付2級検定試験（振袖にふくら雀30分）を実施する

26	座学	着物のTPO（プリント34）を学ぶ
27	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
28	留袖の着せ方2 紋服の着せ方	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ 紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う
各回の展開（ブライダルコース）		
回数	単元	内容
1	振袖の着せ方	考查票の記入、振袖着付を仕上げる（検定対策）
2		振袖着付を仕上げる（検定対策）
3		振袖着付を仕上げる（検定対策）
4		振袖着付を仕上げる（検定対策）
5	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
6	検定試験	きもの着付2級検定試験を実施する
7	留袖の着せ方	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について、検定結果通知
8		二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
9	浴衣の着方 男性浴衣の着せ方	女性浴衣の自装 半幅帯バリエーション 男性浴衣について
10	座学	着物のTPO（プリント34）を学ぶ
11	花嫁着付内容説明	デモンストレーション、小物の準備/使い方/片付けについて
12	花嫁着付	補整の説明と仕方、長襦袢の着付を学び実践する
13		補整の仕方、長襦袢の着付を実践する
14		補整、長襦袢、掛下の着せ方（衿合わせ）を学び実践する
15	総合学習	花嫁着付と総まとめを行う

16	花嫁着付	考査票の記入、補整、長襦袢、掛下の着せ方（裾引き）を学び実践する
17		掛下までの着付を実践（復習）する
18		掛下の着付の実践（復習） 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
19		掛下の着付の実践（復習） 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
20		掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
21		掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
22		掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
23		掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、テストの流れについて
25	検定試験	花嫁着付3級検定試験を実施する
26	打掛の掛け方	掛下に文庫結び、お絡げ・褌どり・お搔い取り、検定結果通知
27	引き振り袖	花嫁の変わり結びを学び実践する
28	紋服	紋服について、紋服・袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
29	女袴	女袴について、女袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
30	総合学習	国家試験対策としてテストを実施、解説する

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	就職ガイドブック			出版社	株式会社ユアサポート

科目の基礎情報2

授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身につける。 卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になる。				
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身につける。				
評価基準	テスト50% 提出物30% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	—				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	森口 園水 他			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職指導の目的 目標設定	就職指導を行う目的を理解 就職決定までの目標設定
2	言葉遣い	言葉遣い、敬語の使い方
3	自己分析	自分が希望する就職先、職務内容について再確認する 希望に向けての課題を理解する
4	自己PR	自己PR内容の見直し、ブラッシュアップ
5	書類選考対策	就職活動に必要な書類（履歴書やエントリーシート等）のパターンと対策
6	面接対策	面接対策、オンライン形式・対面形式それぞれでのポイント
7	ビジネスマナー	ビジネスメール 電話のマナー

8	一般常識	一般常識対策
9	商品プレゼン	商品紹介(プレゼン)のポイントを説明、理解する
10	商品プレゼン	おすすめ商品をピックアップし、商品紹介（プレゼン）内容を考える
11	商品プレゼン	商品紹介(プレゼン)
12	商品プレゼン	商品紹介(プレゼン)
13	テスト	前期末試験
14	SNSについて	SNSのマナー 有効的な使用方法
15	まとめ	前期総まとめ
16	前期の振り返り	前期の振り返り
17	働く意義	何のために働くか 働く上で大切なこと
18	人間力	社会人として求められていること 社会人と学生との違い
19	人間力	愛される人材とは 感謝の気持ち
20	自分の理想像	自分の理想とする社会人像とは
21	目標設定	2年生後期～5年後の目標設定
22	接客マナー	社会人として備えるべきマナーについて
23	電話応対	電話応対の方法
24	来客応対	来客時の応対方法
25	一般常識	就業するにあたって理解すべき言葉について(就業規則・社会人としての知識)
26	ケースワーク1	事例を上げ、原因と対応について考える
27	ケースワーク2	事例を上げ、原因と対応について考える
28	テスト	後期末試験
29	後期まとめ	後期のまとめ、振り返り
30	総まとめ	2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	【カット・パーマ・カラー】カットの基本やカラーなど技術、美容師としての心構えを身につけ、技術の楽しさを知り美容師の計り知れない魅力に触れる。 【ベーシックメイク】 スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し、現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる。		
評価基準	総まとめ30%　まとめ20%　提出物20%　授業態度30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック　メイクアップ検定アドヴァンス検定		
関連科目	サロンワーク A　美容実践Ⅰ-A		
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	【カット・パーマ・カラー】 藤倉　浩二 【ベーシックメイク】 牧元　朋子	実務経験	○
実務内容	【藤倉】美容師20年の経験を活かし、サロンワークの魅力を伝える。 【牧元】外資系化粧品ブランドの美容部員として15年勤務した経験を基に、メイク技術を伝授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【カット・パーマ・カラー】

回数	単元	内容
1	カットting技術	カットting技術基礎
2	カットting技術	カットting技術基礎
3	カットting技術	カットting技術基礎
4	カットting技術	カットting技術基礎
5	カットting技術	カットting技術基礎
6	コンテスト技術／カットting	コンテストデザインに合わせカットting、応用カットting技術

7	コンテスト技術／カットティング	コンテストデザインに合わせカットティング、応用カットティング技術
8	コンテスト技術／カットティング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
9	コンテスト技術／カットティング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
10	コンテスト技術／カットティング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
11	総合授業	作品制作
12	総合授業	作品制作
13	総合授業	作品制作
14	総まとめ	テストを実施する
15	総合授業	前期振り返り
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク／座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク／座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク／座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク／座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク／座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク／座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキんケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）、スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、雑誌（VOGUE/MODE ET MODE 等）		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	【特殊・アーティスト・モデルメイク】 ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ現場において実践できるようにする。 【ベーシックメイク】 スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	【特殊・アーティスト・モデルメイク】 トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身につける。 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身につける。 メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる。 【ベーシックメイク】 メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践できるようになる。		
評価基準	【特殊・アーティスト・モデルメイク】テスト30%、提出物10% 授業意欲10% 【ベーシックメイク】テスト30%、提出物10% 授業意欲10%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制) メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)		
関連科目	美容実践Ⅰ - B		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「特殊・アーティスト・モデルメイク」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、 以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	【特殊・アーティスト・モデルメイク】杉山 智明 【ベーシックメイク】田島 洋子	実務経験	○
実務内容	【杉山】ヘアメイクアーティスト歴16年の実務経験を基に、メイクの知識を伝授する。 【田島】ヘアメイク事務所に所属し、現場経験の知識を活かし、メイクアップ技術を伝授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【特殊・アーティスト・モデルメイク】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ベースメイク1	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク2 ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	年代別のメイク1	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
4	年代別のメイク2	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
5	年代別のメイク3	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ

6	年代別のメイク4	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
7	年代別のメイク5	テスト、振り返り
8	トレンドメイク1	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践)テーマに合わせて行う
9	トレンドメイク2	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う
10	スチールメイク1	フォトコンで行うメイク制作(実践)テーマに合わせて行う
11	スチールメイク2	フォトコンで行うメイク制作(テスト)テーマに合わせて行う
12	スチールメイク3	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
13	作品制作1	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
14	作品制作2	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
15	総合授業	まとめを行う
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク／座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク／座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク／座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク／座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク／座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク／座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	【ブライダルエステ】 教科書・クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類 【ベーシックメイク】 メイク道具一式、メイクアップテキスト ベーシック（デジタルテキスト）		出版社	【ブライダルエステ】 日本エステティック協会 （公社）日本理容美容教育センター 【ベーシックメイク】 ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	【ブライダルエステ】 身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。 【ベーシックメイク】 スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	【ブライダルエステ】 ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 【ベーシックメイク】 メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。		
評価基準	【ブライダルエステ】 実技試験40%(フェイシャル20%・ボディ20%) 授業態度・提出物10% 【ベーシックメイク】 テスト30%、提出物10% 授業意欲10%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制) ブライダルメイク検定(任意) 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン		
関連科目	美容実践Ⅰ - C		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「ブライダルエステ」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、 以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	【ブライダルエステ】 原 怜こ 【ベーシックメイク】 神谷 唯	実務経験	○
実務内容	【原】 エステティシャン8年、自宅サロンオーナーとして4年勤務をし、基礎的なエステの技術を提供できるような授業展開を行う。 【神谷】 美容師3年、ブライダルヘアメイクを10年の実務経験を基に、実践的なメイクができるよう伝授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ブライダルエステ】

回数	単元	内容
1	【エステ】 オリエンテーション、ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 1コマ：授業準備・ルールについて（各校） ベッドセッティング
2	【エステ】 接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1コマ：基本動作・ベッド誘導
3	【エステ】 前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習
4	【エステ】 ボディマッサージ、下肢後面 1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
5	【エステ】 ボディマッサージ、下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習

6	【エステ】 ボディマッサージ、下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
7	【エステ】 ボディ実技試験、成績評価1	ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導 ×2クール～4クール人数に応じて ※相モデル
8	【エステ】 フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 事前準備・基本動作・ベッド誘導、基本手技・HOTタオルの流れシュミレーション
9	【エステ】 フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内－デコルテ1～7(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Ⅰプリント)
10	【エステ】 フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内－フェイシャル1～11(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Ⅰプリント)
11	【エステ】 フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り－整肌
12	【エステ】 フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内－フェイシャルクレンジング(技術編Ⅰプリント)－マッサージ－ふき取り－整肌－誘導
13	【エステ】 フェイシャル実技試験、成績評価2	ご案内－フェイシャルクレンジング－マッサージ－ふき取り－整肌－誘導
14	【エステ】 マッサージ総合・マスク	1コマ：デモマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内－消毒－クレンジング－マッサージ－マスク－ふき取り－整肌－誘導
15	【エステ】 総合授業	総まとめ授業を行う
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク／座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク／座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク／座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク／座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク／座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク／座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキんケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報2

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った補強を学び、ＪＮＡジェル検定初級取得から中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンで接客のできる技術を習得する。		
到達目標	基礎技術に加えてＪＮＥＣ２級取得レベルに技術と共にＪＮＡジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、サロンワークに対応できる技術を身につける。		
評価基準	検定結果30％ 授業態度他10％ 筆記テスト30％ 実技テスト30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	ＪＮＥＣネイリスト技能検定3級　ＪＮＡジェルネイル検定初級		
関連科目	美容実践Ⅰ－Ｄ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	村松　美幸	実務経験	○
実務内容	ネイリストとして8年勤務。日本ネイリスト協会本部認定講師として、検定に合格させ、サロンで接客に繋がる技術を伝授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック 1年次復習
	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック 1年次復習
2	1年次復習	1年次復習
	1年次復習	1年次復習
3	1年次復習	1年次復習
	1年次復習	1年次復習

4	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを学ぶ
	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ
5	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを練習する
	チップラップ 実技	チップラップ 実技
6	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを学ぶ
	2級後半 実技	2級後半 実技
7	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを練習する
	2級 通し	2級の実技を通して練習する
8	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを学ぶ
	2級 通し	2級 通し
9	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを練習する
	実技試験	2級内容
10	ジェル検定中級 第一課題 筆記試験	第一課題を通して練習する ジェルの筆記試験
	実技試験	実技試験
11	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	筆記試験 トリートメント 実技	2級内容の筆記試験 トリートメントを学ぶ
12	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	エンボスアート 実技	エンボスアートを学ぶ
13	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	3Dアート 実技	3Dアートを学ぶ
14	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	ミックスメディア アート	総合的なアートを作成する
15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	HAIR COLOR ACADEMYのwebコンテンツ、ウィッグ、ヘアカラー教材一式			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報2

授業のねらい	【ヘアカラーリスト】 応用的なカラーの考え方が理解・実践できる。 【ベーシックメイク】 スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【ヘアカラーリスト】 コントラストハイライト、バレイヤージュ、シャドールーツのプロセスが明確で、適切に施術できる。狙った色味を表現できる。 【ベーシックメイク】 メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	総まとめ30％　まとめ20％　提出物20％　授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)　メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ - E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「ヘアカラーリスト」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	【ヘアカラーリスト】 石田　勇士郎 【ベーシックメイク】 田島　洋子			実務経験	
実務内容	【石田】 美容師7年（現役）の経験を活かし、応用的なヘアカラーリングを施術できるよう伝授する。 【田島】 ヘアメイク事務所に所属し、現場経験の知識を活かし、メイクアップ技術を伝授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ヘアカラーリスト】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・マナールール説明 教材確認（教材の名称・扱い方・管理方法）、前期の振り返りを行う
2	実技テスト	ブリーチ+オンカラー+薬剤選定についてテストを行う
3	コントラストハイライトとは1	HAIR COLOR ACADEMY コントラストハイライトについて
4	コントラストハイライトとは2	コントラストハイライト 練習とチェックを行う
5	コントラストハイライトとは3	コントラストハイライト 練習とチェックを行う
6	バレイヤージュとは1	バレイヤージュの練習を行う
7	バレイヤージュとは2	バレイヤージュ練習とチェックを行う

8	パレイヤージュとは3	パレイヤージュ練習とチェックを行う
9	シャドールーツとは1	HAIR COLOR ACADEMシャドールーツ（弱）の練習
10	シャドールーツとは2	シャドールーツ練習とチェックを行う
11	シャドールーツとは3	シャドールーツ練習とチェックを行う
12	自由制作	画像を参考に1つのスタイルを作る1
13	自由制作	画像を参考に1つのスタイルを作る2
14	発表会	施術工程、薬剤選定の理由も理論的に発表を行う
15	総合授業	前期振り返りを行う
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
16	フルメイク／座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
17	フルメイク／座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
18	フルメイク／座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
19	フルメイク／座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
20	フルメイク／座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
21	フルメイク／座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
23	ブレ検定	スキんケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	サロンワークA		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	—			出版社	—

科目の基礎情報2

授業のねらい	カットの基本やカラーなど技術、美容師としての心構えを身につけ、技術の楽しさを知り美容師の計り知れない魅力に触れてもらう。				
到達目標	カッティング技術基本である、ワンレングス・グラデーション・レイヤーを理解しカットの習得を目標とする。				
評価基準	総まとめ30%　まとめ20%　提出物20%　授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容実践Ⅱ - A				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	駒津　聡			実務経験	○
実務内容	美容師21年、サロンオーナーの経験を活かし、カットの魅力や実践的な技術、美容師としての心構えなどを伝授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【サロンワーク】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 カット基礎
2	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
3	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
4	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
5	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
6	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
7	まとめ	まとめを実施する
8	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術

9	カットティング	サロンで活用できるカットティング技術
10	カットティング	サロンで活用できるカットティング技術
11	カットティング	サロンで活用できるカットティング技術
12	カットティング	サロンで活用できるカットティング技術
13	カットティング	サロンで活用できるカットティング技術
14	総まとめ	総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	サロンワークB		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ヘアメイク道具一式			出版社	ー

科目の基礎情報2

授業のねらい	サロンや撮影などヘアメイクの現場で生きる知識・技術を学ぶ。 ABEまつ毛エクステンション検定合格に向けた授業、試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	メイク＆ファッション業界のトレンドや歴史に触れて感性を磨き、各ジャンルにおけるヘアメイク技術の基礎を身につける。ABEまつ毛エクステンション検定合格レベルの技術と筆記理論を習得する。				
評価基準	筆記テスト10% 実技テスト50% 提出物20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ABEまつ毛エクステンション検定				
関連科目	ー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	東間 浩子 他			実務経験	○
実務内容	アイラッシュ＆アイブロウサロンに2年勤務し、アイラッシュエクステンションディレクターとして、まつ毛エクステンション検定合格に導く授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・メイクの歴史	授業の目的目標、評価基準、メイクの歴史について
2	筆記テスト・ベースメイク	筆記テスト、スキんケア～ベースメイク
3	コントゥアリングメイク	スキんケア～コントゥアリングメイク、カットクリース（1960s ツイッギーイメージ）
4	色指定メイク・アイブロウテクニック	質感やトーンなどバランスを考えるメイク、アイブロウと骨格の似合わせについて、ブロウリフトについて
5	ヘアとメイクのバランス・カウンセリング	ベースメイクテスト、ヘアメイクによる印象操作やマッチングについて、カウンセリングテクニック
6	海外アジアメイク1	中国 純欲メイク
7	海外アジアメイク2	タイ スワイメイク

8	コスメ広告ヘアメイク1	国内ブランド
9	コスメ広告ヘアメイク2	海外ブランド
10	ブランド研究(コスメ)	コスメブランドについて研究、シート作成、ブランドイメージのヘアメイク
11	ブランド研究(ファッション)	ファッションブランドについて研究、シート作成、ブランドイメージのヘアメイク
12	ブライダルヘアメイク1	ブライダルメイク概論、テーマに合わせたヘアメイク
13	ブライダルヘアメイク2	ブライダルヘア概論、テーマに合わせたヘアメイク
14	撮影ヘアメイクテスト1	スチール撮影を想定したヘアメイク、ヘアメイクチェンジ
15	撮影ヘアメイクテスト2	スチール撮影を想定したヘアメイク、ヘアメイクチェンジ
16	【理論】道具の確認	まつ毛エクステに使用する道具の名称などを確認する
17	【実技】ワゴンセッティング	実際に使用する道具を使用し、机上をワゴンに見立ててセッティングの場所を覚える
18	【理論】衛生管理	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
19	【実技】まつ毛エクステンション技術	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
20	【理論】保健（目・皮膚）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
21	【実技】まつ毛エクステンション技術	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
22	【理論】保健（まつ毛の知識）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
23	【実技】テーピング・リムービング	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
24	【理論】カウンセリング	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
25	【実技】装着復習	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
26	【理論】カウンセリング	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
27	【実技】装着復習	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
28	【理論】テスト（概要～用具）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
29	まとめ	実技のテストを行う
30	まとめ	実技・筆記のテストを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	サロンワークC		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークC		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ヘアメイク道具一式			出版社	ー

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダルの現場における基礎知識を習得し、現場を意識した技術ができるようになる。				
到達目標	ブライダルの基礎を理解し、現場に出ても即戦力となれるレベルの知識・技術を身につける。				
評価基準	実技テスト50％ 筆記テスト10％ 提出物20％ 授業態度20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ー				
関連科目	ー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	後藤 導絵 他			実務経験	○
実務内容	フォトスタジオ・式場定形のブライダルヘアメイクとして勤務後、フリーランスとしてブライダル、各種撮影、セミナー講師等のヘアメイクを13年勤務した経験を活かし、現場で即戦力となれる技術を伝授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・ブライダル概論 ・ブライダルメイクについて	授業の目的目標、評価基準、ブライダルプランニング、ヘアメイクの仕事、衣装の種類、ブライダルメイクとカジュアルメイクの違い
2	筆記テスト・ベースメイク	ブライダルメイクの基本(スキンケア～ベースメイク)
3	コントゥアリングメイク	スキンケア～ベースメイク(コントゥアリング)、ポイントメイク
4	ベースメイク・ヘアアレンジ	スキンケア～ベースメイクテスト、ヘアアレンジ(相モデル)
5	フルメイク・ヘアアレンジ	テーマ『ナチュラル』
6	フルメイク・ヘアアレンジ	テーマ『エレガント』
7	ヘア概論・カウンセリングテクニク・ヘアメイクリハーサル	ヘアの似合わせ、ヘアードについて、カウンセリングシート作成、ヘアメイクリハについて、お色直しについて

8	ヘアメイクリハーサル(前半)	カウンセリング～ヘアメイクリハ通し 相モデルにてロールプレイング、ヘアメイク写真の撮り方
9	ヘアメイクリハーサル(後半)	カウンセリング～ヘアメイクリハ通し 相モデルにてロールプレイング
10	ヘアメイクリハーサル(前半)	カウンセリング(テスト)～ヘアメイクリハ通し 相モデルにてロールプレイング
11	ヘアメイクリハーサル(後半)	カウンセリング(テスト)～ヘアメイクリハ通し 相モデルにてロールプレイング
12	ロケーション撮影向けヘアメイク	テーマ『海岸や森林など自然系』
13	ロケーション撮影向けヘアメイク	テーマ『東京駅系』
14	挙式ヘアメイク	相モデルのイメージに合わせたヘアメイク(テスト)
15	和装知識・留袖ヘアメイク	和装知識(ゲスト向け)、留袖ヘアメイク(※ヘアはウィッグにて)

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	サロンワークーD		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークーD		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ABE textbook Eyelash extensions教科書 まつ毛エクステンション教材一式 JNAテクニカルシステム ベーシックネイル用具一式		出版社	公益社団法人 日本理容美容教育センター NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ABEまつ毛エクステンション検定合格に向けた授業、試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。 基礎的なマニキュア技術を実践でき、JNECネイリスト技能検定3級取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる。				
到達目標	ABEまつ毛エクステンション検定合格レベルの技術と筆記理論を習得する。 ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得する。				
評価基準	テスト30% 授業態度10% 提出物10% JNECネイリスト技能検定3級検定結果15% 授業態度他5% 筆記テスト15% 実技テスト15%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	美容技術理論Ⅱ 美容実践Ⅱ-D				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	成田 有美 他			実務経験	○
実務内容	日本ネイリスト協会本部認定講師、サロンワーク歴3年、ジェルメーカーエデュケーター。 サロンワーク現役のため、業界の現状を踏まえ、検定だけでなく実務で使える授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	【理論】 道具の確認	まつ毛エクステに使用する道具の名称などを確認する
2	【実技】 ワゴンセッティング	実際に使用する道具を使用し、机上をワゴンに見立ててセッティングの場所を覚える
3	【理論】 衛生管理	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
4	【実技】 まつ毛エクステンション技術	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
5	【理論】 保健（目・皮膚）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
6	【実技】 まつ毛エクステンション技術	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する

7	【理論】保健（まつ毛の知識）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
8	【実技】テーピング・リムービング	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
9	【理論】カウンセリング	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
10	【実技】装着復習	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
11	【理論】カウンセリング	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
12	【実技】装着復習	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
13	【理論】テスト（概要～用具）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
14	まつ毛エクステ まとめ	実技のテストを行う
15	まつ毛エクステ まとめ	実技・筆記のテストを行う
16	ネイル導入・教材チェック 一年次復習	ネイルの授業内容を復習
17	一年次復習	
18	一年次復習	
19	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ
20	チップラップ 実技	相モデルにて実技
21	2級後半 実技	JNEC2級後半実技タイムトライアル
22	2級 通し	2級の実技を通して練習する
23	2級 通し	2級の実技を通して練習する
24	実技試験	2級内容
25	実技試験	2級内容
26	筆記試験 トリートメント 実技	2級内容の筆記試験 トリートメントを学ぶ
27	エンボスアート 実技	エンボスアートを学ぶ
28	3Dアート 実技	3Dアートを学ぶ
29	ミックスメディア アート	総合的なアートを作成する
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	サロンワークE		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークE		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	カット道具一式・カラー道具一式		出版社	ー	

科目の基礎情報2

授業のねらい	これまで学んだカラーの技術を生かした作品作りができるようになる。		
到達目標	・ カラーリングを生かしたウィッグの作品が作れるようになる。 ・ 作品をより効果的に見せるフォトの知識と技術を身につける。		
評価基準	総まとめ30%　まとめ20%　提出物20%　授業態度30%		
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格	—		
関連科目	美容実践Ⅱ－A		
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員	駒津　聡	実務経験	○
実務内容	美容師21年、サロンオーナーの経験や社内フォトコンテスト優勝の経験を活かし、カラー技術を生かしたウィッグの作成、フォト技術を身に付ける授業を展開する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【カット・カラー・ウィッグ制作・フォト】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明
2	デザインカット	作品作りに必要な、デザインカットの種類や方法を学ぶ
3	デザインカット	
4	デザインカット	
5	デザインカット	
6	カット・カラー・フォト まとめ	カット実技のテストを行う

7	カラー	作品作りに必要なカラーの知識と技術を学ぶ
8	カラー	
9	カラー	
10	カラー	
11	カット・カラー・フォト	作品作りに必要な、フォトの技術を学ぶ SNSへの掲載の仕方
12	カット・カラー・フォト	
13	カット・カラー・フォト	
14	カット・カラー・フォト 総まとめ	カット・カラーのテストを行う
15	カット・カラー・フォト	これまでの振り返り
16	オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明
17	作品作り	テーマ考案 デザイン考案 試作づくり
18	作品作り	
19	作品作り	
20	作品作り	
21	作品作り	
22	作品作り・まとめ	デザイン考案のまとめ
23	作品作り	デザイン考案からの作品作り ウィッグの撮影 SNSへの掲載
24	作品作り	
25	作品作り	
26	作品作り	
27	作品作り	
28	作品作り	
29	作品作り・総まとめ	作品の完成・総まとめ
30	振り返り	これまでの振り返り